

## 第1章 策定の趣旨

学校は、地域の宝となる子どもたちを育み輩出し、それを地域で支える市民とともに様々な思い出や記憶を共有する施設であり、単なる教育施設だけでなく、地域コミュニティの中で市民の『心の拠り所』としてシボニル的な存在としての役割を担っている。

根室市では、少子化の進行による児童・生徒数の減少など教育環境の悪化により学校の統廃合が進み、学校としての利用が廃止された校舎及び附属施設（以下「旧学校施設」という。）が存在している。

学校の統廃合は、その地域にとって身を切る思いで苦渋の選択であり、地域の置かれている現状を受け止め、地域が進むべき将来を見据えながら、廃校等を活用し地域の新たな活性化拠点として蘇らせることは大きな行政課題の一つである。

現在、これら旧学校施設の多くは、避難所などとして利用されているものの、必ずしも有効に活用されているとは言えない状況にあり、今後予想される行政需要の増大や新たな政策課題への対応も踏まえた対応が欠かせないところである。

基本方針では、根室市における旧学校施設の活用に関する基本的な事項を明らかにすることによって、その利活用を推進または促進し、旧学校施設の活用を通じた地域の活性化に寄与するものである。

### 【語句の定義】

語句	定義
廃校	根室市立学校設置条例から除かれた学校
休校	児童・生徒数が在籍しない学校
利用	地域の避難所、教育施設等として行政目的をもって利用すること
活用	旧学校施設を用いて上記の利用を超えた方法によって活用すること
地域	主に旧学校施設の所在する地域住民等
活用主体	個人・団体等を問わず、旧学校施設を活用して活動・事業等を行う者